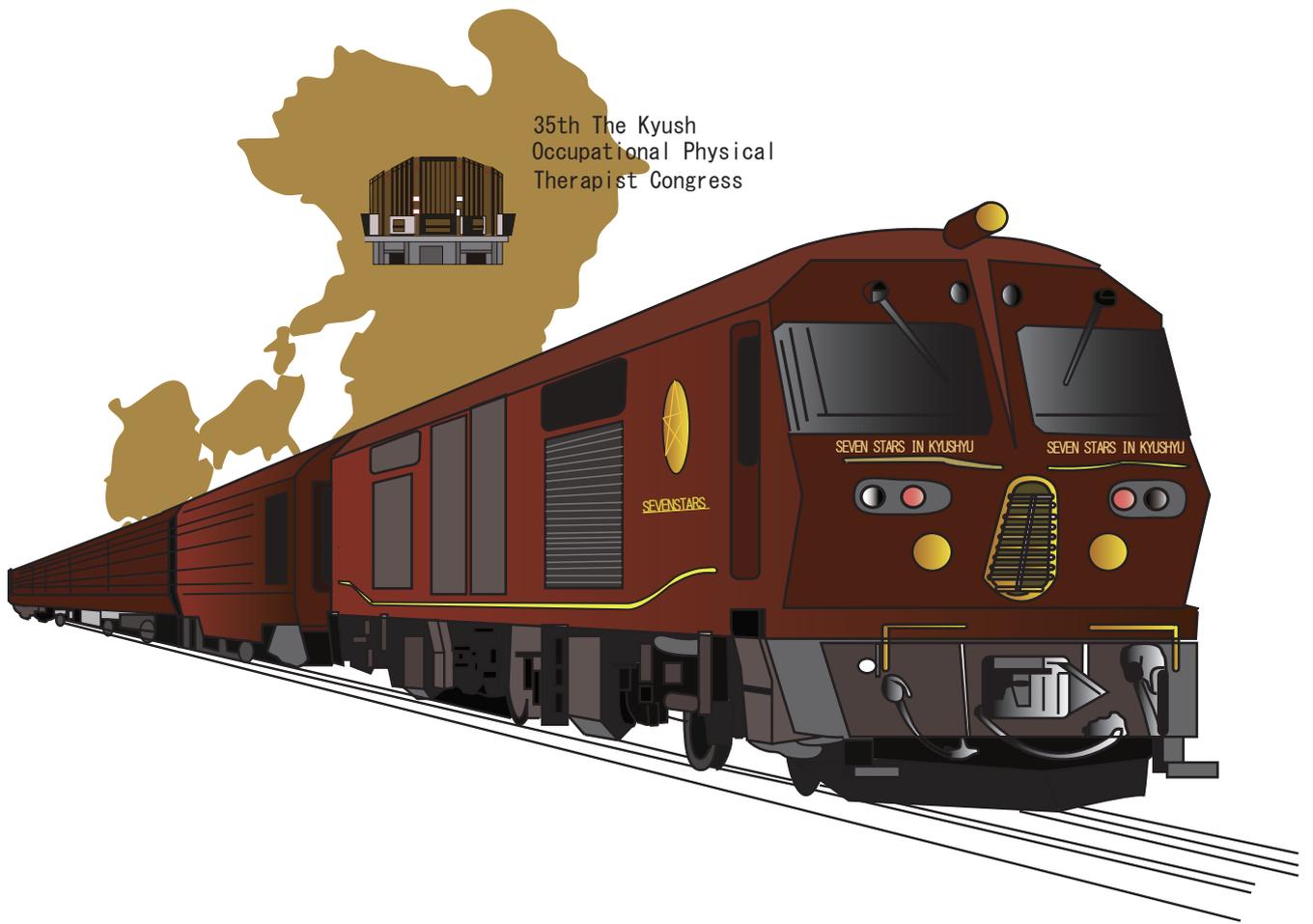


# かくどけい

112号

KAKUDOKEI 2013



35th The Kyush  
Occupational Physical  
Therapist Congress



公益社団法人  
熊本県理学療法士協会  
Kumamoto Physical Therapy Association

広報誌「かくどけい」  
平成 25 年 11 月 25 日 発刊



001	巻頭言	「価値観」	飯星雅朗
002	理事会報告		
004	各部・委員会報告		
	生涯学習部		
	渉外部		
	宣伝部		
	表彰審査委員会		
	福祉部		
	学術事業部		
	学術部		
	教育部		
010	事務局だより		
011	大展望	『最近感じたこと』	坂田大介
		『「理学療法士の針路」を考える』	岸本 稔
012	くまもと北から南から		
014	他士会便り	「選ばれる（理由）」	広島県 No. 228
014	学会・研修会のお知らせ	「第10回日本神経理学療法学会学術集会」	
015	学会・研修会印象記		
016	くまもとの理学療法情報	PT Walker 熊本	
018	よろず運動療法相談所	「どんな“遊び”をしていますか？」	
019	医療・介護お役立ち情報		
020	学術事業部文献紹介		
021	事業予定表		
022	異動・休会・復会・退会の手続きについて		
024	学会・研修会のお知らせ	「福祉研修会」	
	編集後記		

熊本県理学療法士協会広報部では皆様からの投稿をお待ちしております。医療や介護に関するトピックスや学会・研修会・勉強会の情報など理学療法士として伝えたい情報をお寄せください。

発行 奇数月の月末 6回/年

投稿の方法 協会事務局に原則としてメールで送付してください。

原稿の採択 「投稿規定」に則りその内容を検討し、掲載可否について審議し決定します。なお掲載にあたり、広報部より誌面の関係上原稿について執筆者との協議を通じて、内容の変更をお願いすることがあります。

お問合せ先 (公社) 熊本県理学療法士協会事務局

TEL 096-389-6463

E-mail kpta\_kat@mtg.biglobe.ne.jp

## 『 価値観 』

公益社団法人 熊本県理学療法士協会  
理事 飯星 雅朗  
(九州中央リハビリテーション学院)

この原稿を書いている時、新聞やニュースでは台風 26 号による伊豆大島の被害や安否確認ができない方々の捜索状況、週末にも最接近すると予想されている 27 号・28 号に備えての島外避難など報道されています。また一方では昨日 (10 月 21 日) パ・リーグの東北楽天ゴールデンイーグルスがクライマックスシリーズファイナルステージで勝利しリーグ優勝を決めました。観客へのインタビューでは「球団が創設された 9 年前には想像もできなかった奇跡だ」、「東日本大震災があったけど、選手が東北のことを思ってプレーしている姿に勇気づけられた」(熊本日日新聞) などコメントが記載されていました。『自分のためではなく他のために……』という選手の気持ちが東北の人々に伝わった結果だと思えます。おそらくこの原稿を皆様が目にされるときには、日本シリーズでの決着がつき、日本一が決まっているのではないのでしょうか？

さて、先にも書きました地震の被害や台風の被害など、近年自然災害が後を絶ちません。人間は自然の脅威の前に無力であることを痛感させられるものです。しかしそれと同時に協力し助け合う気持ち、人を思いやるやさしい心、自分ができることで人を勇気づける行動、団結力など最近忘れていた、薄れていた日本人が本来持っている価値観が復活したようにも思います。ピンチの時にこそ助け合うことで少しでもポジティブに考えたり、行動したりすることの大切さを教えられました。東日本大震災では全国から多くの理学療法士がボランティアとしてあらゆる場で活動をしたようです。

当協会は今年 4 月に無事公益社団法人に移行することができました。公益社団法人とは公益性のある事業を多く展開することができ、そのことで社会的にも高い信頼を得ることができます。その信頼に答えるべく、公益性のある事業とは何か？ 県民の皆様に対して理学療法士は何ができるのか？ を、協会会員個々人が今一度考え、事業展開していけるような環境づくりを理事会でも考えています。それには当協会にある 10 のブロック・地区での活発な地元で根ざした活動・事業展開が必要不可欠です。自分ができることを生かし皆が協力して成し遂げた結果、信頼を得ることができる。そのような会にしたいと思います。

また 10 月には公益社団法人移行の祝賀会も開催することができました。会には日頃よりお世話になっている医療保健福祉に関する各団体の役員の方々や病院・施設の管理者の方々、日本理学療法士協会からは会長ならびに副会長など多くの方々にご出席いただきました。当協会に寄せられる期待と責任の重さをあらためて感じるとともに身の引き締まる思いがしました。ここがゴールではなくスタートであるということを再認識し、『日本人が本来持っている価値観』である、人を思いやる気持ちや助け合い、団結力を協会会員個々人が持ち、更なる発展した熊本県理学療法士協会になるよう頑張ってまいります。県民の皆様、今後の当協会の事業にどうぞご期待下さい。



# 理事会報告

## 平成25年度 第7回理事会議事録(要約版)

日時：平成25年9月4日(水) 19:00~21:05  
 場所：熊本総合医療リハビリテーション学院  
 出席者：  
 <会長>北里  
 <理事>大島・前田・坂崎・飯星・大脇・川上・佐藤  
 三宮・田島・筒井・野津原・増田・光本  
 <監事>寺川・中島 <事務局員>福島  
 <事務職員>石黒・前田・吉永  
 欠席者：  
 <理事>野間  
 書記：佐野・潮崎(江南病院)

### 1. 報告事項

#### 1) 平成25年度特別委員会報告

##### ◇組織検討特別委員会

日時：平成25年8月20日 19:00~21:00  
 内容：1) 調整会議内容報告 2) 検討事項  
 ①事務局の庶務部の中の生涯学習部の名称について  
 ②学術部の次年度予算について：三役で調整中  
 ③地域局関係：各ブロック・地域で開催されるイベントなどを計画する。  
 ④社会局関係：人員等踏まえて、今後調整会議に入っていく  
 ⑤組織検討委員会の次年度必要性：組織図の中に設けたほうが良いのではないか。  
 ⑥危機管理について：危機管理関係には三宮理事を派遣する予定である。

#### 2) かくどけいリニューアルについて 【広報部】

かくどけいのリニューアルを検討している。

#### 3) 会員名簿取り扱いの周知、徹底について

##### 【事務局】

(坂崎)日本理学療法士協会から会員名簿の管理を厳重に取り扱ってほしいと連絡があった。会員名簿を基にした勧誘等の不審な電話があったためである。

#### 4) 平成25年度事業計画等の修正・変更について

##### ○問題解決についての研修会

###### (第2回卒後教育研修会)

【変更後】場 所：熊本リハビリテーション病院  
 講 師：山中 紘(ラポール形成)  
 植田義美(全人間的アプローチ)

##### ○管理者教育カリキュラム第1ステージ

###### (フォローアップ研修会)

【変更後】期 日：平成25年9月7日(土)

##### ○第20回介護教室

【変更後】日 時：平成25年11月17日(日)  
 講 師：今村三奈子氏(保育士)  
 野島麻裕氏(作業療法士)  
 浪本正晴

#### 5) 熊本県患者別リハビリテーション実態調査

##### 【三宮理事】

8/22調査依頼を各施設にFAX通信した。昨年12月限定査定を受け調査を行うことになった。会員施設に案内し順調に進んでいる

#### 6) その他

##### ・第7回熊本県医療・保健・福祉連携学会企画委員会報告

(大島)内容は第6回開催経過と収支決算。

##### ・公益法人移行記念講演会・祝賀会について

(大島)10/12(土)に開催。会場はホテルニューオータニ熊本で、半田会長、小川副会長、山口議員が参加予定。18:30から山口議員の講演、19:00から祝賀会となる。

##### ・山口和之議員と語る会について案内

(坂崎)来週の土曜日開催。

##### ・健康フェスティバルシンポジウム案内

(坂崎)9/27、28健康フェスティバル、9/21にシンポジウム「認知症を地域で支える」開催。

### 2. 協議事項

#### 1) 平成26年度熊本県理学療法士学会 学会長

##### ・副学会長承認を求む件

##### 【学会評議員会】

平成26年度熊本県理学療法士学会担当ブロック(県南)より、学会長・副学会長の推薦が行われた。推薦内容に問題なく、学会評議員会としては、別紙の方々の承認をお願いしたい。

学 会 長：新穂大輔

(水俣市立総合医療センター)

副 学 会 長：川北英二(ハートフルゆうあい)

準備委員長：藤井崇浩

(指定通所介護事業所はるかぜのいえ)

(理事)承認。(13名/13名)

#### 2) 新人会員の仮会員番号制度導入について

##### 【庶務部】

新人会員は会員番号が付くまでに2~3ヶ月を要し、会員専用ページにログインすることが出来ないため、入会申請が行われた新人に対しては仮会員番号を発行し、当協会ホームページのログイン登録を促す案内を行いたい。ただし、現行ホームページの基幹部分に改

修が必要なため別途費用が発生する。検討をお願いしたい。

(坂崎)本来は予算を挙げるべきであるが、次年度の予算を考えるうえでこの方向性でよいかを決定してほしい。

(理事)承認。(13名/13名)

### 3) いきいき未来のつどい30周年記念事業イベントについて

#### 【三宮理事】

熊本市北区地域成人保健研修会は、平成25年度事業として「いきいき未来のつどい30周年記念事業イベント」を催される。熊本地域リハビリテーション広域支援センターからブース企画に関して熊本県理学療法士協会および熊本県作業療法士会に共催の依頼があった。依頼の返答について理事会のご意見を伺いたい。

(前田)当協会はどの日に参加すればよいか。

(三宮)12/1である。

(前田)積極的に参加したほうがよい。

(坂崎)今後は積極的に対応したほうがよい。

(三宮)本イベントについては熊本市ブロック北地区で対応したほうが良いと考える。

(会長)各ブロック・地区でのイベントに積極的に参加してほしい。特に熊本市内では各区、保健所等との関係をもってほしい。

### 4) 第6回小児研修会の講師料について

#### 【小児領域小委員会】

本来1時間で設定されている講師料を45分で換算させて頂けないか。次回の研修会は、障がいをもつ当事者と保護者に講師をしていただく。4名の講師を計画しているが、時間(3時間)と予算(30,000円)の都合上、1人45分で企画中である。

(理事)承認。

### 5) 組織検討特別委員会協議について

#### 【組織検討特別委員会】

①事務局庶務部に生涯学習機能を移管するが名称を「班」とするか「係」とするか

②組織検討特別委員会は、26年度どうするか?

③危機管理室の設置をどうするか?

(会長)①の議案について、名称は「係」とする。

(会長)②の議案についてご意見はないか。

(坂崎)本来は理事の仕事であると考えている。

(坂崎)③について、前回の理事会の際に、中島監事から危機管理に関する検討を行う組織を作った方がよいのではないかと提案があり、組織検討特別委員会が設置されそこで出てきた内容である

(会長)事務局でのバックアップなどは定期的に行っているのか。

(石黒)事務局の中で行っている。

(会長)災害では臨時的委員会を立ち上げ対応をするほうがいいかもしれない。この場で結論をだすことは難しい。継続的に検討していく必要がある。最優先事項は情報管理の在り方にあると考えるため、次回理事会で検討したい。そのため、現在のバックアップ体制でよいのか、他の方法を考える場合の費用も踏まえて話す必要がある。

(坂崎)組織検討特別委員会から出た話であるため、もう少し委員会の中で検討をしたほうがよいのではないかと。

(会長)危機管理に関する実際の内容は理事会で検討していくことになる。組織検討特別委員会でもこの内容はどこが検討するかを議論したほうが良い。

(中島)災害などで理学療法士はどういう役割を求められているのか、どのような役割を担われるかということを把握し、対策を考える期間限定の検討委員会を作ってもよいのではないかと。

(会長)期間限定で動き、その際常設にするか他の部局に対応を依頼するかを決めるとよい。そのような委員会をつくっていく方向になると考える。組織検討特別委員会の中で検討することと同時に、災害時の危機管理に関しては他団体などの現状を調査したい。

### 6) 読売新聞社主催「第42回医療功労賞」候補者の推薦依頼について(第6回理事会継続審議)

#### 【事務局】

(大島)20年程前から阿蘇全地域で訪問リハにかかわっているA氏はどうか。

(会長)今年度の推薦に関してはA氏がよいのではないかと。アポイントや手続きは増田理事に任せてもよいかと。

(増田)了解。

### 7) その他

#### ・熊本訪問リハビリテーション研修会について

(大脇)9/7の熊本訪問リハビリテーション研修協議会主催研修会の参加者100名予定であるが、現在34名である。理事の皆様も協力願いたい。

#### ・在宅支援ハンドブックについて

(川上)24年度改正版のWEB版が完成した。在宅支援ハンドブックで検索するとヒットするようにしている。冊子も作成予定である。

#### ・名刺作成について

(坂崎)名刺サンプルをお渡ししている。必要の有無や修正の有無をチェックしてほしい。

以上、閉会

# 各部・委員会報告

生涯学習部 部長 當利 賢一

## ◎分科学会・部門の登録についてのご案内

すでにご存知の方も多いと思いますが、この度「日本理学療法士学会」、ならびにその下部機関となる「分科学会」および「部門」が設立されました。「日本理学療法士学会」は、日本理学療法士協会の中に設立されています。日本理学療法士学会の下部機関として12の「分科学会」と5つの「部門」があります。

### 1) 分科学会・部門への登録条件

- ①新人教育プログラムを修了している方。
- ②分科学会ならびに部門への登録は任意です。複数の分科学会ならびに部門へ登録可能です。

### 2) 分科学会・部門へ、どうやって登録するの？

マイページ内、『学会管理』メニューからご登録できます。自身の希望する学術活動が複数の分科学会の領域に含まれる場合、どの学会でご自身が活動したいかによって、登録する学会をお選びください。複数の学会に登録も可能です。



### 3) 今まで登録してきた「専門領域研究部会」は？

専門領域研究部会は、「専門分野」という名称に変更となりますが、今までの「専門領域研究部会」に登録されてきた履歴は引き継がれます。「専門分野」は専門・認定理学療法士取得を目指すためにご登録が必要なもの、「分科学会」はその分野の学術的な交流を積極的に展開するために登録するものです。

<新人教育プログラム修了後>

マイページのメニューから生涯学習管理→専門分野登録を選び、登録画面に入った後、必ず一分野以上にご登録ください。



### ・お問い合わせに関して

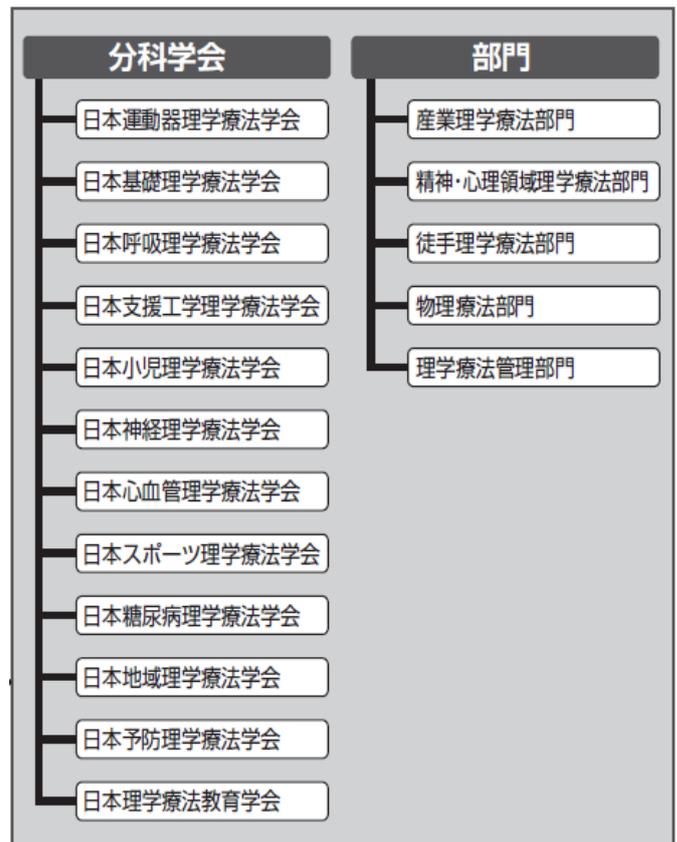
ご質問は随時受け付けておりますが緊急の場合以外はメールにてお願い致します。

メールアドレスは… [kpta.lld@gmail.com](mailto:kpta.lld@gmail.com)

緊急の場合は…

部長: 當利賢一 (所属: 介護老人保健施設 清雅苑)

096-345-8112 内線 7308



## 渉 外 部

部長 坂崎 浩一

### 公益社団法人熊本県理学療法士協会記念講演祝賀会

平成25年10月12日(土)公益社団法人熊本県理学療法士協会記念講演祝賀会がホテルニューオータニ熊本を会場にて開催されました。記念講演では参議院議員の山口和之先生より「未来はこれから！」というテーマで理学療法士の将来像について講演頂きました。

祝賀会ではご臨席頂いた県医師福田会長、市医師会加来会長より暖かいご祝辞を賜り、半田協会長の乾杯のご発声のもと祝宴となりました。当会の歩みについてのプレゼンテーションや熊本市民吹奏楽団サクソパートの演奏などもあり、歓談絶えぬ盛会なる祝賀会となりました。



【山口先生記念講演】



【半田会長乾杯のご発声】



【北里会長ご挨拶】

### 関連団体との連絡調整

- ・車いすふれあいジョギングに関する連絡調整  
日時：平成25年10月19日  
会場：菊陽杉並木公園・さんさん  
内容：担当者並びに熊本市ブロック菊阿地区責任者と連絡調整
- ・熊本城マラソンボランティア支援に関する連絡調整  
ボランティア場所(テント位置)備品等について担当者と調整
- ・第1回九州ブロック会長会議についての連絡調整  
日時：平成25年11月22日15:00～  
場所：国際交流会館

## 宣 伝 部

部長 草野 隆夫

### ○平成25年9月26日(木)18:00～宣伝部会議

場 所：水前寺とうや病院

参加者：草野、岩崎、林、佐田、染田、井彩、井拓、桑原、石田

内 容：熊本市健康フェスティバルについて

- ・動員の活動内容の確認
- ・準備と片付けの動き方
- ・集合時間や会場入場の方法など

### ○平成25年9月28日(土)・29日(日)

熊本市健康フェスティバルの啓発活動

場 所：くまもとパレア

参加者：9/28 AM 林、井彩

PM 染田、石田

9/29 AM・PM 草野、桑原

内 容：協会や理学療法の説明

体力測定コーナーのフォロー

### ○ユニホームの貸し出し

平成25年9月28日(土)・29日(日)

熊本市健康フェスティバルにて

平成25年10月19日(土)

菊阿地区の活動にて

平成25年11月16日(土)・20日(水)

PT・OT合同学会のPR活動

## 表彰審査委員会 委員長 山下 智弘

表彰審査委員会では、各種団体・自治体等外部よりの表彰推薦依頼や日本理学療法士協会・熊本県理学療法士協会会員の各種表彰のための推薦根拠となる資料の作成・管理を行ってまいりましたが、平成26年度より、「表彰審査委員会」は統合されなくなります。つきましては、全会員さまを対象とした「表彰に関するデータ入力」を実施するにあたり、入力方法をご案内いたしますので、各施設の所属長の方々は、入力作業のサポートをしていただきますようお願い致します。

平成23年度より、熊本県理学療法士協会のホームページより、「本人が直接入力」していただくことになりました。したがって、熊本県理学療法士協会のホームページにて「ログイン申請」の手続きを終了された後、**会員ログイン** ⇒ **会員 MY メニュー** ⇒ **個人情報登録・変更** ⇒ **各種フォームへ入力** をお願い致します。

入力に際しましては、『入力項目および入力時の注意点』を参考に、ご入力お願い致します。

### <入力項目および入力時の注意点>

#### 1: 本籍の項目

⇒『本籍』をドロップダウンの項目より選択して下さい。

#### 2: 休会の項目

⇒『休会経験の有無』にチェックを入れて下さい。

⇒休会経験:『有』の方のみ、休会期間を入力して下さい。

#### 3: 学歴および職歴の項目

『学歴』⇒〇年〇月および高等学校卒業より以降について入力下さい。

『職歴』⇒職歴のある方は、入力下さい。

#### 4: 学術事業に関する業績の項目

『学会業績の有無』にチェックを入れて下さい。

⇒『各種学会回数』の欄には、「主演者」の回数を入力して下さい。

⇒『学会その他』の欄には、座長・シンポジスト・コメンテーター等の経験について具体的に入力して下さい。

『講習会等講師の経験の有無』にチェックを入れて下さい。

⇒講習会講師等の回数ならびに講習会名を入力して下さい。

⇒『論文数』の欄には、筆頭執筆者での回数のみを入力して下さい。

『著者活動の有無』にチェックを入れて下さい。

⇒『著作署名』、『著作出版社』を入力して下さい。

⇒『著作状況』の欄には、単独執筆あるいは共同執筆の別を選択して下さい。

#### 5: 役員等の経歴の項目

『役員経験の有無』にチェックを入れて下さい。

⇒『役員経験《熊本》』の欄には、役員・部員・委員・ブロック長、学会・研修会役員等の経験について入力して下さい。

⇒『役員経験《全国》』の欄には、役員・部員・委員・代議員、学会・研修会役員（全国・九州地区）等の経験について入力して下さい。

#### 6: 所属する学会・研究会等の項目

『所属する学会・研究会等』の有無にチェックを入れて下さい。

⇒『有』の方のみ、入会年度および名称を入力して下さい。

#### 7: 教育に関する経験の項目

『常勤講師および非常勤講師』の有無にチェックを入れて下さい。

⇒『有』の方のみ、「勤務先」・「講義名」・「経験年数」を入力して下さい。

『臨床実習指導経験』の有無にチェックを入れて下さい。

⇒『有』の方のみ、「経験年数」を入力して下さい。

⇒『臨床実習指導経験』の欄は、実務経験3年以上で、スーパーバイザーの経験をお持ちの方のみ入力して下さい。サブバイザー、ケースバイザーは該当しません。

#### 8: 『その他』の項目

『免許・資格』の有無にチェックを入れて下さい。

⇒『有』の方のみ、「取得年度」、「免許・資格の内容」を入力して下さい。

⇒学位等も内容の欄に入力して下さい。  
『賞罰』の有無にチェックを入れて下さい。  
⇒『有』の方のみ、「年度」、「賞罰の内容」を入力して下さい。  
ただし、施設内のものは除外します。

- \* 各項目入力するための欄が不足した場合には、**入力欄を追加する**をクリックし、欄を増やして下さい。
- \* 各自、熊本県理学療法士協会のホームページにより『ログイン』され、平成25年12月31日までに、入力いただきますようお願い致します。

<入力に関する問い合わせ先>

〒869-0532 宇城市松橋町久具 691

宇城総合病院 リハビリテーション部

TEL: 0964-32-3111 (内線: 695)

E-mail: [ukisogo-rehashien@reimeiki.jp](mailto:ukisogo-rehashien@reimeiki.jp)

担当: 山下 智弘

## 福祉部 部長 木原 伸一

今後の福祉部の活動について、ご報告いたします。

「第3回介護保険領域における研修会」を、平成26年2月22日(土)14時～17時予定にて、全国在宅リハビリテーションを考える会の理事長でもある、「塩中 雅博 先生」(理学療法士:ポシブル医科学㈱)をお呼びして、「在宅リハビリテーションの未来(仮題)」というテーマで開催します。

今後の在宅リハで療法士に求められるもの、ポシブルポシブル医科学㈱の全国的な展開(特にリハ特化型通所の可能性など)、今後の訪問リハステーションの可能性や特区的取り組み、今後の療法士へのアドバイス、などを講演していただく予定です。ぜひ多くの皆様のご参加をお待ちしています。

また昨年多くの感動があり反響の大きかった、福祉研修会「命の授業 ～夢を支えるセラピストへの提言～」講師:腰塚 勇人 先生(講演家、元体育教師・養護教員)、平成25年11月29日(金) 19:00～21:30(予定)、会場:九州中央リハビリテーション学院 講堂で行います。当日参加も可能ですので、皆様のご参加をお待ちしています。

## 学術事業部 部員 田中 智幸

### 第45回市民公開講座 『ベッドサイドリハ ～廃用予防について～』開催報告

平成25年10月6日(日)に熊本総合医療リハビリテーション学院にて、第45回市民公開講座「ベッドサイド ～廃用予防について～」を開催致しました。

看護師、介護福祉士、作業療法士、理学療法士など多くの職種の方々が、計33名参加されました。

講師には熊本中央病院の上村恭生先生を迎え、前半の講義では、廃用症候群についての基礎知識や、起立耐性能や運動耐用能低下の機序、体位変換のポイントなど、また、100円ショップで手軽に手に入る道具やペットボトルなどを使っての自助具の紹介など幅広い職種の方に対応した内容盛りだくさんの講義内容でした。

後半の実技では、3～4名の9グループに分かれ、各グループに学術事業部員がつき、実際にストレッチや、寝返り、起き上がりなどの基本動作介助を力学的な解説を交えながら実技して頂きました。様々な職種が集まり、意見交換や質疑応答など、今後の臨床において行かせる内容であったため、受講者にとっても有意義な講義内容であったと思います。



暖かい秋が過ぎ、気が付くともう師走。急激な寒暖の差に体調を崩し易くなる昨今、会員各位におかれましてはお変わりないでしょうか。

今年度の学術部活動は先月の研修会を持って全て終了しました（原稿作成時は開催前）。会員皆様のご協力を感謝いたします。

### 《開催報告》

#### 『第56回学術研修会』

テーマ：「ペインリハビリテーション」

講 師：沖田 実 先生

（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科運動障害リハビリテーション学研究室）

講 師：松原 貴子 先生

（日本福祉大学健康科学部リハビリテーション学科理学療法専攻教授）

日 時：平成25年9月8日（日）

会 場：九州中央リハビリテーション学院

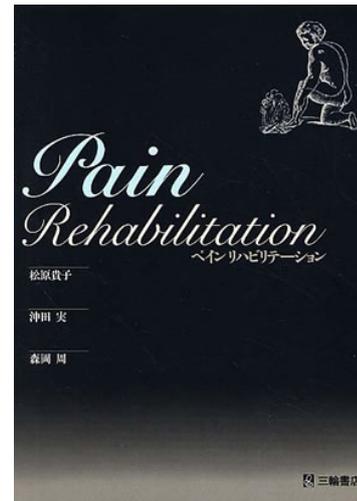
参加者：133名（会員120名、会員外13名）

所 感：今回開催された平成25年度第56回学術研修会は、長崎大学の沖田実先生、日本福祉大学の松原貴子先生をお招きし、「ペインリハビリテーション」と題して、沖田実先生には痛みに対する末梢へのリハビリテーションについて、松原貴子先生には中枢ならびに慢性痛のリハビリテーションについて最新の知見を交えてご講義頂きました。

講義内容は、痛みの発生に関与する組織の機能解剖、組織損傷・炎症の病態生理、神経科学、認知・情動面など多方面からの分析、さらに痛みの様々な評価方法やリハビリテーションの考え方など多岐にわたるものでした。また特に治療に難渋する慢性痛は情動的側面をも含む痛みであることから、日々の臨床で痛みというものをもっと深く考察し、患者の痛みの訴えに注意深く耳を傾けることがとても重要であるということを再認識することができました。

アンケート結果では、「大満足」「大変良かった」「まだ聞き足りない」「またペインリハビリテーションの研修会を開催して欲しい」という声が多数聞かれました。本研修会の内容は、これまで痛みの治療に難渋してきたセラピストにとっては、打開策となる有意義な研修会になったのではないかと思います。最後に、ご協力いただいた関係各位ならびに熱心に受講していただいた会員の皆様に

御礼申し上げます。



（報告者：なかがわ整形 濱田皓介）

### 《開催予定》

#### 『第57回学術研修会』

テーマ：「リハ専門医からのメッセージ

～リハビリテーション医療に必要な知識と管理～」

講 師：松元 秀次 先生

（鹿児島大学病院霧島リハビリテーションセンター医局長 助教）

日 時：平成25年11月17日（日）

会 場：九州中央リハビリテーション学院

対 象：理学療法士、作業療法士、その他医療専門職

定 員：150名

#### ＜松元 秀次先生からのメッセージ＞

高度専門医療の拡大や少子高齢化社会の進展のなか、リハビリテーション（リハ）医療に対するニーズは年々高まり多様化している。一方で、PT/OTの数は年々増加し、プロフェッショナルとしての資質が強く求められている。本講座では、リハ医療を担うプロフェッショナルとして必要な知識だけでなく、チームリーダーとしての姿勢や今後のリハ医療のあり方についても熱く語り合いたいと思う。

### 《次年度予告》

次年度の研修会も充実した内容となっています。予定では年3回の学術研修会、昨年度に引き続き理学療法士講習会（応用編）となっております。生涯学習ポイント付与対象ともなる研修会です。専門・認定理学療法士取得を目指す会員方にも是非受講をよろしくお願ひします。詳細は次号に掲載したいと思います。次年度の学術活動にも是非ご協力のほどよろしくお願ひ致します。

教育部の前田です。今年は台風の当たり年で、伊豆大島では土石流で多くの方々が被災されました。

一日も早い復興をお祈りするとともに、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・

さて当教育部では各研修会やお役立ち情報等の情報を、熊本県理学療法士協会ホームページを通じて発信してまいりますので、ログインIDの登録、ならびに公益社団法人日本理学療法士協会（以下：JPTA）のマイページ登録（どちらも無料）をよろしくお願い致します。

☆各班の活動です

◎卒業教育班：平成25年度の卒業教育班の活動は、ブロック地区での研修会開催を廃止し、2回の卒業教育研修会を中央開催します。単位認定に関しましても、従来どおりの新プロ(C-3)でも登録できますが、専門・認定理学療法士取得のポイントとなる研修会で、「リスク管理研修会」と「問題解決に関わる研修会」です。さる10月20日(日)に「問題解決に関わる研修会」を開催いたしました。17名の皆様にご参加いただき、グループワークを中心に「ラポール形成」と「全人的アプローチ」について活発なディスカッションが行われました。定員よりかなり少ない人数でしたが、少ないからこそそのディスカッションができたと思います。ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。

次年度からは、生涯学習部と合併し、新人教育プログラムも卒業教育班で開催いたしますのでよろしくお願いいたします。

◎臨床実習教育班：臨床実習教育班は、今年度の研修会事業が終わり、現在、CE(Clinical Educator)の育成カリキュラム作成とSVの手引き改定に向けた活動を中心に行っております。全国の動向をリサーチしたり、SVの手引きの内容の再確認や編集を行ったり各作業部会で頑張っております。前回も書きましたが、次年度の研修会に向けての準備も進めております。今後ともよろしくお願いいたします

さて！「熊本県版スーパーバイザーの手引き」はもうお読みいただきましたか？各施設1部の配布ですが、PDFにて熊本県理学療法士協会ホームページ

(<http://www.kumamoto-pt.org/>) お役立ち情報のページよりダウンロードできますのでぜひご一読いただき、臨床実習教育の参考にしていただければと思っております。ご意見もどしどしお寄せ下さい。皆様の方でこの手引きを育てていきましょう。

◎管理・運営教育班：管理者教育カリキュラム（第1ステージ）第3クールが10月17日(木)～18日(金)に行なわれました。ちょうど会場の熊本保健科学大学周辺の田んぼは稲刈りが行われており、季節の流れを感じました。熊本大学医学部附属病院の菊池 健先生のマネジメントⅠ・Ⅱに始まり、熊本大学の吉田道雄先生にグループ・ダイナミクス（対人関係スキル）についてそれぞれお話いただきました。今回はいよいよ12月19日、20日に最終クールが行なわれます。良い準備をして良い学びが提供できるように頑張ってみますのでよろしくお願い致します。

ついに！第2ステージの骨子が完成し、講師の選定が終わりました。これから最終調整を行う段階になってまいりましたが、今回は中長期計画を立ててそれを実践できる。という人材を育成するためにhつ様なノウハウが身につくようなコンテンツを考えています。もちろんすべてが整ってからのスタートですが、良いものにしていきたいと思っております。ぜひご期待ください！

☆教育部のビジョンは...

- 現状における臨床実習教育の課題を抽出し、標準的指導指針を模索する。そのテキストとして、日本理学療法士協会発行の臨床実習の手引き（第5版）を用い、養成校、臨床実習施設の共通目標を確認する。
- 理学療法士としての専門的知識や技術の重要性もさることながら、卒前教育の限界と卒業教育での課題と思われる基礎的な項目の習得の一助となる教育システムの構築を行う。
- 上記内容を把握し、人材（財）育成、組織的管理のできる管理者を育成し、理学療法士の職域拡大や就労後の教育レベルの向上を図る。

教育部に対するご意見・ご要望等ございましたら、私（前田） [rptmaeda@yahoo.co.jp](mailto:rptmaeda@yahoo.co.jp)までご連絡下さい。

# 事務局だより

(公社)熊本県理学療法士協会 事務局

〒861-8045 熊本市東区小山 2 丁目 25-35

TEL/FAX 096-389-6463

Eメールアドレス kpta\_kat@mtg.biglobe.ne.jp

ホームページ <http://www.kumamoto-pt.org/>

## 会長行動録

- 9/4 熊本市介護認定審査会  
：熊本市健康センター新町分室
- 9/4 理事会  
：熊本総合医療リハビリテーション学院
- 9/5 熊本地域リハビリテーション広域支援センター連絡協議会  
：くまもと県民交流館パレア
- 9/8 学術研修会  
：九州中央リハビリテーション学院
- 9/15 新人研修会：熊本保健科学大学
- 9/18 熊本市介護認定審査会  
：熊本市健康センター新町分室
- 9/25 部長会議  
：熊本総合医療リハビリテーション学院
- 10/2 熊本市介護認定審査会  
：熊本市健康センター新町分室
- 10/2 理事会  
：熊本総合医療リハビリテーション学院
- 10/6 理学療法士講習会(基本編)  
：九州中央リハビリテーション学院
- 10/12 公益社団法人移行記念講演会・祝賀会  
：ホテルニューオータニ熊本
- 10/16 熊本市介護認定審査会  
：熊本市健康センター新町分室
- 10/16 日本プライマリ・ケア連合学会第9 回九州支部  
総会・講習会第3 回実行委員会  
：熊本県医師会館
- 10/17 法人事業審議委員会会議  
：熊本総合医療リハビリテーション学院
- 10/29 九州理学療法士・作業療法士合同学会準備委  
員会：九州中央リハビリテーション学院

## 会員数 (H25. 10. 31 現在)

賛助会員 10 社 休会会員 176 名

ブロック名	施設数 〔 ( )内の自宅会員数を 含んでいます。〕	会員数
熊本市	301 (84)	1436
県北	76 (18)	225
八代	81 (11)	288
天草	46 ( 7)	97
県南	19 ( 1)	45
合計	523 (121)	2091

## 掲示板

### ■ 異動・休会・復会・退会等の

手続きに

ついて

平成 26 年 1 月以降、各種手続きシステムが変更になります。手続きについての詳細は今号巻末尾をご覧ください。

ご不明な点は事務局までご連絡下さい。

### ■ 会員専用ページログイン申請のお願い

情報の発信・共有のため熊本県理学療法士協会ホームページの会員専用ページへのログイン申請をお願い致します。ログイン申請はホームページの「会員ログイン」からお手続きください。

### ■ 平成 25 年度会費納入について

未だ納入されていない方は日本理学療法士協会より送付されるコンビニ・郵便局用の払込票にて、記載された期限までに納入して頂きますようお願い致します。

### ■ 会費納入用楽天カードの

お申込の

お願い

会費納入用クレジットカードとして「楽天カード」（年会費無料）へのお申込をお願いします。楽天カードへのお申込は日本理学療法士協会ホームページの会員専用ページからお手続き下さい。



# 大 観 望

## 『最近感じたこと』

広報部部长  
熊本機能病院  
坂田 大介

私事ですが、小学校4年生になる長女が、今年の4月より吹奏楽部に入部しました。週に4日練習があり（ちなみにアルトサクソを担当しています）、楽器と日々格闘し「疲れた～」と言って帰宅しますが、それでも充実した日々を送っているようです。

長女が所属している吹奏楽部は、4～6年生まで男女合わせて80人近くの大所帯とのこと。入部して数年の児童もいれば、数週間という子もいるそうです。年に数回コンクールがあり、先日は熊本県立劇場で演奏を行ないました。私も観客席で、間近に子供達の演奏を聴くことができ、正直感動を覚えました。子供達を指導されている顧問の先生の考え方は、「楽器を上手に演奏できないに関わらず、必ず子供達全員をステージに立たせる」ことだそうです。そして、演奏できる子供達ができない分を補い80人分の音を出していると聞きました。その理由を伺うと、「楽器を上手に演奏できることだけがすばらしいことではない。もし十分な演奏ができなくても、楽しそうに演奏する真似をすることで、全体の雰囲気の良いものにすることができる。演奏のできる子供が、苦手な子の分まで補うことで、互いのことを思いやる心が生まれてくる。それが一かたまりの音となり、聴衆の心に響くんです」と。

私の受け取り方が間違っていなければ、顧問の先生が言われたことは理学療法士の仕事にもつながることだな、と思いました。言うまでもなく、私達は様々な職種がチームとなり、クライアントやそのご家族に関わっています。その楽器（職種）にしか出せない音（職種毎の専門性）があり、ただ独りよがりの音を出すのではなく、共通の目標（クライアントの希望）に向かって様々な音色がコラボレーションすることで聴衆（クライアント）の心身にながしかの変化を生むことができればと思い、日々仕事に取り組んでいます。

子供達はちょっとしたアドバイスで、驚く程全体の音が変わります。私達もクライアントに対して、その時期に応じたアプローチやアドバイスを行なうことを心がけたいものです。

## 『「理学療法士の針路」を考える』

調査資料部部长  
熊本セントラル病院  
岸本 稔

先日、静岡県で開催された「第48回日本理学療法士協会全国学術研修大会」に参加して参りました。『理学療法士の針路を問う』という大会テーマに基づき様々な企画が開催され最新の話題に触れることができました。研修会に参加するなかで、これからの理学療法士の針路について個人的に感じたことを述べてみたいと思います。

平成25年9月15日に総務省より「統計から見た我が国の高齢者」という調査が行われています。現時点での総人口は12726万人うち高齢者（65歳以上）は3186万人で総人口に占める割合は25%。平成47年には総人口11212万人うち高齢者は3741万人で総人口に占める割合は33%。という報告がなされています。日本は世界に例を見ないスピードで高齢化社会が進むといわれていますが、すでに4人に1人は高齢者であり高齢化ではなく高齢社会になっていることが推察されると思います。また、総人口が減少し社会を支える働き手の減少も懸念されています。さらには国民皆保険の医療制度の根幹を揺るがしかねないTPP参加など社会基盤そのものが急速に変化して行きます。

理学療法士の針路を考える上でこのような社会の急速な変化に柔軟に対応できるかが鍵になると思います。状況の変化に敏感になり、理学療法士に「何が求められているか」・「何ができるのか」を模索し社会のニーズをいち早く察知し行動することが重要になると感じています。目的を達成する為に目標があり針路を決断します。理学療法士が活躍している地域や職域の違いで針路は多種多様なものがあると思います。しかし、どのような針路をたどっても目的が同じであれば到達点は一緒です。

理学療法士の目的は「社会貢献」と私的に断言しています。たどっている針路に是非は無いと思いますが「目的」を見つめなおすことで確認できるのではないかと思います。





## 県北ブロック

### 浦上 洋純

時が過ぎるのは早いもので、今年も残すところあと数ヶ月となり、寒暖の差も大きくなり朝、布団から起きるのが億劫な時期となってきました。

会員の皆様におかれましては、お変わりありませんでしょうか？

さて、当ブロックでは当初11月に公益事業である玉名市健康食育福祉フェアへの参加協力を予定しておりました。しかし、食育中心のイベントにシフトした事で、当協会の活動趣旨と異なるため参加することが困難となりました。残念な事ですが、次年度以降は可能な範囲で何かしら関わることの出来る事業を考案・企画できたらと思っていますので、各地区の会員方のご意見、ご提案等あれば検討させていただきます。宜しくお願いします。

## 県南ブロック

### 藤井 崇浩

今年のプロ野球日本シリーズは、楽天ゴールデンイーグルスが読売巨人軍を4-3で下し、日本一になりました。創設9年目では快挙といえ、また東日本大震災でご苦労なさっている東北の方たちにも、大きな勇気と癒しを与えたことと思います。胴上げ投手となった田中将大選手は、前日との連投となりそのこと自体は賛否両論ありますが、最終回に登場した時の会場のボルテージは最高潮となりました。24勝無敗という金字塔を打ち立て、リーグ優勝に大車輪の活躍を見せた田中投手の活躍を、ファンの皆さまが理解をしてのことと思います。

また、楽天を率いた星野監督は、中日・阪神でもリーグ優勝に導きましたが、日本一には手が届きません

でした。日本一は悲願でもあり、さぞ嬉しかったでしょうが、インタビューでは「選手のことを褒めてあげてください！」と選手の活躍を前面にだしていたのが印象的でした。その監督が師と仰ぐのが、先日亡くなられた熊本出身の川上哲治さんでした。星野監督の背番号「77」は、川上さんの監督時代の背番号だそうです。

川上さんご自身の著書(『遺書』文藝春秋刊)の中で、激情家であった星野監督が、経験を積むにつれて穏やかになり、常に優勝争いできるチームに作り上げているところを賞賛されていました。また、選手・コーチを「後ろ姿で率いる」ことの大切さを書かれています。子育てでも「親の言うようには育たない、親のするように育つ」という至言がありますが、共通するところがあるのかなと感じました。

理学療法士も患者様に禁煙やダイエットを勧めることは頻繁にあります。それを勧める自分がヘビースモーカーであったり肥満であったりすると、説得力に欠けることがあります。スタッフを率いていく場合でも同じだと思うのです。「天知る、地知る、我知る」(『後漢書』)というように、指導する側には常に緊張感が必要だと考えます。

さて、県南ブロック下半期の勉強会では、今年度から経験1~2年目の方を対象にして、症例検討会を計画しております。一人職場で頑張っている会員も少なくありませんので、ブロック全体で応援していきたいと思えます。

## 天草ブロック

### 水田 順司

11月に入り、気温も急に下がり肌寒くなりましたが、皆様はいかがお過ごしでしょうか？私は寒暖の差に体が慣れず風邪を引いてしまい、改めて自己管理不足を痛感いたしました。

ブロック長としましては10月12日に熊本県理学療法士協会の公益社団法人設立記念祝賀会に参加させていただき、半田一登協会長や私の恩師である小川克巳協会副会長にもお会いして話をさせていただく機会を得て、これからの社会に向けての理学療法士の責務を改めて感じました。

さて、天草ブロックからの活動報告です。9月13日(金)

には第4回定例勉強会を開催し、25名の先生方に参加していただきました。テーマは「脊柱—関節運動に適した刺激—」と題しまして、池田光世先生に講師をお願いし、関節運動に適した刺激量について講義と実技を行っていただきました。普段私たちが患者様に与えている刺激量について深く考えさせる内容となり、参加者も実技を通じ感じたことと思います。



10月には今年度のテーマである「脊柱」シリーズの最後として、武部啓太先生に講師をお願いして「脊柱—治療—」について10月11日に19名の先生方に参加いただき開催いたしました。勉強会の集大成として脊柱へのアプローチについて実技を行っていただき、これらの内容を含めて来年の2月に臨床3年目の先生方の発表を行いたいと思いますので、該当される先生方にはご準備のほどどうぞよろしくをお願いいたします。



その他の活動としましては、10月に天草生活習慣病研究会ワークショップへ天草ブロックとしてスタッフを派遣し、当日は会員の皆様にも参加していただいたり、私に関しても天草ご当地体操の開発など、様々な場面で理

学療法士が求められております。これからも理学療法士としての知識や技術が様々な場所で活かせるように対外的な活動を増やし、会員の皆様にも活躍していただきたいと思っております。

最後になりますが、天草ブロックの次年度の計画として、多職種への勉強会の開催や、行政と協力しながら疾病予防も含めた理学療法法の啓蒙活動も行っていきます。皆様の協力がないと達成できない事業ばかりとなりますので、是非ご協力をお願いいたします。

## 八代ブロック 塚島 靖博

人吉は朝から霧が深く、駐車中の車のスモールライトがついていますとの病院のアナウンスが良く聞かれるようになりました。秋真っ盛りですね。

10月27日は協会主催での八代ブロック吸引セミナーが人吉の球磨病院で開催されました。受講者は作業療法士4名を含む18名の参加者がありました。呼吸領域小委員会の講師の先生7名により、午前中は吸引や感染対策関しての講義、午後は実技で口腔内・鼻腔内吸引と気管吸引の2パターンを各々2回ずつ実施、2回目になると結構手馴れてくるものです。修了証書も手渡され、各施設や病院で看護部や上司に確認した上で実践です。

11月2日はあさぎり町で糖尿病予防フォーラムに参加しました。糖尿病小委員会の溝上先生を中心に人吉球磨の理学療法士10名作業療法士1名で体力測定を行いました。開始後は行列が出来るほど盛況でした。来年度に向けて公益事業の予行演習になりました。

九州厚生局の個別指導では、もともと廃用症候群の患者さんへの早期加算・初期加算は算定できない、例えば脳血管障害後遺症でBI・0点の患者など点数の改善の見込みが無い場合など廃用に陥る前の状態がどの程度だったかをしっかり把握する必要がある。胃癌・食道癌・肝臓癌・咽頭喉頭癌は術後呼吸器リハビリテーションの算定は可能だが、大腸癌は正中切開でも呼吸器リハの算定は出来ないで廃用またはがんリハで算定するようにとのことでした。

以前九州厚生局に問い合わせた時は腹腔鏡下の手術は算定できないが正中切開では算定可能と返事あったのですが・・・

# 心士会 便り 広島

## 『選ばれる（理由）』

今年、私たちが嬉しくさせてくれるニュースがいくつかありました。キーワードは「選ばれた」です。平成25年7月21日の参議院選挙において日本理学療法士協会理事である山口和之氏（以下、山口議員）が当選しました。ここからの6年間は2025年に向けて地域包括ケアシステム構築とそれに連動して医療提供体制が大きく変わる大切な時間です。山口議員の当選によって、制度の中に理学療法やリハビリテーションをどのように位置づけるかという私たちの政策を国政の場に届けるチャンスが生まれました。今回の当選には後援会、連盟、協会、当会役員および、会員の皆さまの多大なるご尽力、ご協力がありました。一会員として皆さまにお礼申し上げます。

話は少し変わりますが、平成25年6月22日、第37回ユネスコ世界遺産委員会が富士山を世界文化遺産に登録することを決定しました。特に注目されたのは、ユネスコ諮問機関イコモスの除外勧告を覆し、三保松原も含めた登録となったことです。“一発逆転”の見出しで、文化庁の近藤誠一長官（以下、近藤長官）や静岡県、山梨県両知事らが立ち上がって握手を交わすニュース場面はとても印象的でした。この逆転劇の裏には日本側の効果的なロビー活動がありました。イコモスの勧告では、「三保松原は富士山から距離が遠い」として、除外して登録するよう求められていました。これに対し、日本側は「距離の問題でなく、富士山と三保松原は歴史的、文化的に一体的である」と各国の（文化遺産）推薦候補が、政治的な力で登録される傾向もある中、正攻法で自分たちの考え方を訴えたそうです。会議の休憩時間中に近藤長官が反対姿勢を示していたドイツ代表団の男性にパンフレットを片手に話す様子、テレビのニュースでよく紹介されていました。その後、ドイツ代表団は本国と連絡協議を行い支持を表明しました。このとき近藤長官に「日本は尊敬できる国であり、きちんとしている。だから力になりたい」とコメントしたそうです。それからの経過は皆さまご存知の通りドイツからの「ミホノマツバラ…無形の価値あり」発言から一気に登録に向かいました。

このニュースを聞いて、私は日本人としてとても誇らしい気持ちになりました。しかし同時に理学療法士としての自分も含め「きちんとしているのか」と考えてしまいました。最近、理学療法士の臨床現場に対して厳しい意見を耳にすることがあります。今後、新医療体制下での機能分化の中で選ばれるためには、リハビリテーションの概念の中でだけでなく、治療としての理学療法が今まで以上に求められ、アピールしていく必要があります。制度の中でリハビリテーションや理学療法の概念を位置づけ職域を獲得しようとしても、社会的に信頼されなければ選ばれることも難しいと思います。そのためには、まず自分たちの臨床が社会でどのように認知されているのかを知る必要があると思います。

2020年オリンピック、パラリンピックの開催地が東京に選ばれました。選ばれた理由は「信頼」。私たち一人ひとりが自分の使命を一生懸命果たし信頼され、私たちの政策を国政の場に届けるチャンスを十分に活かし、生き生きと働く理学療法士であり続けたいと思っています。

（広島 No. 228 より抜粋）

## 学会・研修会の お知らせ

### 第10回日本神経理学療法学会 学術集会

#### 【目的】

中枢神経疾患に対する理学療法の科学的検証を通して、理学療法士の知識・技術を高め、リハビリテーション医療、保健、福祉の発展に資する。

#### 【テーマ】

「中枢神経障害への挑戦」

ニューロリハ、ロボティクスのもたらす未来

#### 【期日】

平成25年12月14日（土）、15日（日）

#### 【会場】

京都府民総合交流プラザ 京都テルサ  
〒601-8047 京都市南区東九条下殿田町70番地

#### 【内容】

特別講演・シンポジウム・一般演題・機器展示

#### 【主催】

日本神経理学療法学会

#### 【申し込み期間】

平成25年11月30日（土）まで

[参加申し込み・問い合わせ](#)

日本理学療法士協会ホームページより

<http://www.japanpt.or.jp/>

[学会・研修会情報] > [研修会] > [第10回日本神経理学療法学会学術集会] > [詳細] > [事前申込]



# 学会・研修会印象記

『日本理学療法士協会全国学術研修大会  
に参加して』

熊本機能病院 中井 友里亜

平成 25 年 10 月 4・5 日の両日に、静岡県浜松市のアクティシティ浜松で開催された、第 48 回日本理学療法士協会学術研修大会に参加させて頂きました。

今回の研修会は、ベーシックセミナーから参加型のテクニカルセミナー、ベテラン理学療法士に学ぶ症例検討まで、幅広い分野と研修スタイルで、明日から使える考え方・技術を学ばせて頂きました。そして、臨床に出てから初めて重要さに気づかされた「医療倫理」についての研修もありました。

特別講演では、岡野栄之先生より「iPS 細胞を用いた神経系の再生・疾患研究」、山口建先生から「社会復帰を目指すがん医療～リハビリテーションの役割～」というテーマでお話を頂きました。「再生医療」や「がんのリハビリテーション」については、学生時代には学んでこなかったものです。ほとんど初めて聞くことばかりだったので、すべての内容を理解することは出来なかったと思います。しかし、最先端医学のトピックスに触れ、考えることで興味を持つことが出来ました。

私は、今年で臨床経験が 3 年目になります。「私が行ったアプローチはこれで本当に良かったのか?」「患者さんが今本当に必要としているものは何か?」「患者さんは歩きたいと言われているけど、安静にしておかなければ危険な状態。こんな時はどうしたらいいのか?」などという悩みを持っていました。今回の研修会で、様々な先生方から貴重なお話を聴くことで、今まさに悩んでいることのヒントを得ることが出来ました。

また、大会のテーマである「理学療法の針路を問う」にもあるように、医療を取り巻くあらゆる環境の変化に、私たち理学療法士も対応していかなければならないということを改めて実感しました。

会場では、関東の病院に就職した友人に偶然遭遇しました。大会 1 日目の夜は、その友人と静岡の鰻を堪能しながら、互いの臨床での悩みや、想いを打ち明ける機会まで頂き、本当に充実した 2 日間となりました。

今後も様々なことに関心を持ち、常に知識・技術を高めること、そして何より、患者様への温かい気持ちを持って、日々の臨床に向き合っていこうと思います。

『平成 25 年度理学療法士講習会(基本編)  
に参加して』

西日本病院 元村 文

平成 25 年 10 月 6 日、九州中央リハビリテーション学院で開催された日本理学療法協会 研修部主催の内部障害に対する理学療法の基本についての研修会に参加させて頂きました。

内容は PT・OT・ST に必要な循環器疾患・呼吸器疾患・代謝疾患についての基本的アセスメントとリスク管理についてです。循環器疾患では東京工科大学医療保健学部より高橋哲也先生の講義を受講しました。講義内容は、運動療法を行う時のリスク管理、フィジカルアセスメントについて詳しく講義を受けました。一番印象に残ったところでは、高橋先生の最大のリスク管理とは何か? という問いでした。リスク管理というと、患者様の自覚症状、血圧、脈拍などが一番に思い浮かびますが、高橋先生は再発させない、病院で二度と自分の患者様と会わないという強い意識をもつとのこととおっしゃられていました。

入院されて、リハビリテーションを受けて状態が良くなり退院されても自宅内での生活や活動量が改善されず、再度入院を繰り返し、その度に ADL レベルが低下される患者様も目にする機会はあると思います。しかし本来のリハビリテーションとは、健康増進・予防・治療により再発予防、自身や主介護者により疾患管理をさせていくものではないかと考えます。セラピストとして、リハビリテーションを進めていく上で第一に考えることとして、何が原因で受傷・発症され入院したのかを明らかにする事は、再発予防の観点から必要不可欠であると思います。入院生活のみ活動量を向上するのではなく、退院後の生活像を想定しながら、どの様にすれば患者様の活動量を向上させられるのかを常に考えながらリハビリテーションを進めていかなければなりません。

今回の勉強会にさせて頂いて、内部障害に対する基礎的な知識を身に付ける事で患者様により質の高い運動療法を提供する事ができると思います。

Merry  
Christmas



## (有)熊本託麻義肢



有限会社 熊本託麻義肢

(社) 日本義肢協会登録番号・九州158

(有)熊本託麻義肢は昭和62年9月に設立されました。

人とのつながりを大切に信頼、感謝を基本理念とし笑顔で接することを心がけ、仕事を通じて地域社会へと貢献できればと考えておられます。

所在地：熊本市東区八反田2丁目1-49

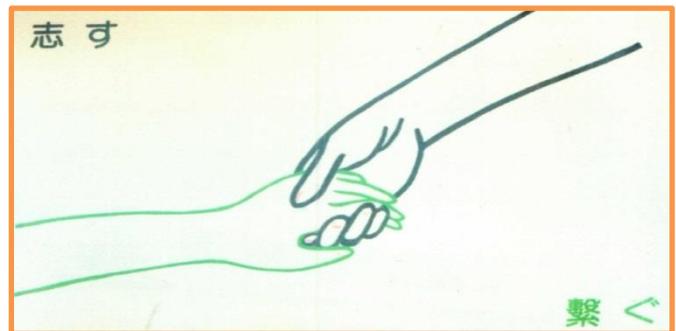
T E L : 096-380-8673

F A X : 096-380-8674

E-mail : takumagishi@road.ocn.ne.jp

### 事業内容

1. 義肢装具の制作、修理
2. 福祉用具のレンタル・販売（住宅改修）



## (株) 菌田義肢製作所

(株)菌田義肢製作所は、昭和37年8月に設立されました。義肢装具の採型から制作、装着まで仕事の部門を分けることなく、患者様一人一人に寄り添うことをモットーとされています。

また、常により良い製品作りを目指し、創意工夫し、多様化するニーズにも的確に対応し患者様に満足して使用していただける心のこもった製品提供を心がけておられます。

所在地：熊本県熊本市中央区

本荘4丁目5-5

T E L : 096-364-9376

F A X : 096-372-3896

### 事業内容

1. 義手、義足、各種補装具、コルセットの製造販売
2. 車椅子、杖、リハビリ機器の販売

※主な取引先：熊本県各市町村、福岡県大牟田市・みやま市、宮崎県えびの市・小林市



賛助会員とは、(公社)熊本県理学療法士協会の目的に賛同し、この協会に対し育成、援助を図る個人又は団体のことです

## (株)タガワブレース

(株)タガワブレースは、平成元年3月に義肢装具、車椅子製作所として事業を開始され、医療・介護・福祉の三本柱で質の高いサービスを9つの事業所で、全職員が一丸となって提供されています。病院や施設での義肢装具の製作、また、御利用者様の自立、Quality Of Life(生活の質)を高める商品や介護サービスに努めておられ、一般のご高齢の方々に対しても『居心地のよい在宅での生活』のサポートをモットーに運営されています。

所在地 : 熊本県宇城市小川町南部田 1555-1

T E L : 0964-43-0503

F A X : 0964-43-4313

### (本社)

タガワブレース義肢装具事業所

タガワブレース福祉用具事業所

デイサービスセンター ミッキー

タガワブレースホームヘルパーステーション

### (八代事業所)

介護用品 太陽

### (小川事業所)

有料老人ホームひかり

タガワブレース訪問看護ステーション(訪問リハ)

### (松橋事業所)

サービス付高齢者専用賃貸住宅たがわ

デイサービスセンター ハッピー



## 徳田義肢製作所



(株)徳田義肢は、昭和26年4月に設立されました。常に研究開発を行い、より機能的な義肢装具の製作、福祉用具の提供を目指されています。また平成13年にオリジナル装具・既製品開発部門として、トクダオルソテックを設立されました。

医療分野のコメディカルの一員として医師や医療スタッフとのチームワークを生かし、皆さまに喜ばれる質の高い補装具を提供していきたいと考えておられます。

所在地 : 熊本市中央区大江6丁目27-20

T E L : 096-364-0855

F A X : 096-364-0865

ホームページ : tokuda-gishi.co.jp

### 事業内容

1. 義肢及び各種医療用装具の製造販売
2. 福祉用具、介護用品の販売及び貸与





# よろず運動療法相談所

小児小委員会

「どんな遊びをしていますか？」

今回は、1歳過ぎから2歳までの子どもにどんな“遊び”がいいか紹介しようと思います。まず、遊びの紹介をする前に**1歳過ぎから2歳までの発達特徴**を考えてみましょう。

- 乳児期が終わり、幼児期に入るこの時期は行動範囲が広がり、探索行動も多く運動機能が発達してきます。自己主張も強くなりますが、母親に対する依存心も強い時期です。
- 食事はスプーンを握り、うまく口に運べないときは、食べ物を手でスプーンの上ののせて食べたりもします。
- 睡眠は1日12時間程度ですが、昼間興奮したり、不安なことがあると、夜中に激しく泣くことがあります。尿意をもよおすと知らせるようになり、便器に座せると、排泄するようになります。
- おおむね1歳半ころまでは歩くようになり、運動は、ブランコ、滑り台、三輪車等にのれるようになりますので、この時期は全身運動をさせることが大切です。
- ことばが発達する時期で、次々と新しい言葉を身につけていき、1歳半頃になると、言葉は10語以上はなせるようになり、2語文を話します。同時に話すことによって新しい人間関係もできていくので、特にこの時期のことばを育てることに配慮したいものです。大人を介して、2～3人の子どもと遊ぶことができますが子供同士の関わりはあまり見られません。
- 感情表現も豊かになり、恐れ、喜び、怒り等の感情を表せるようになります。またこの時期は大人の愛情を求め、可愛がられることを喜びます。単純な動作を褒められると、得意顔で何回もやって見せるなどの特徴があります。

## 子どもの発達に応じた遊びとオモチャ

この時期の子どもは歩行を獲得し、**自由に動かせるようになった体**を動かすのをとても好きです。**屋内、屋外のいろいろな場所で遊べる**ようになります。年齢と共にできることも増え、**遊びの難易度も変化**していきます。それによって子ども自身が成長を感じることができます。遊びは子どもの発達に大きな影響を与えます。次に遊びの具体的な例を紹介します。感覚遊びとしては、**水遊び、紙粘土、小麦粉粘土遊び、新聞破り**など**感触や音など楽しむ遊び**がとても好きです。(図1)。**歌や歌に合わせて体を動かす**ことが大好きで、園の先生やテレビを見たりして、それを**真似ながら一緒に歌を歌ったり、自由に体を動かして遊んだり**します(図2)。**紙芝居、絵本**は、生活の中でよく見るものや体験している事柄について、描かれているものや綺麗な色のものに興味を持って見ようとします(図3)。この時期は、**様々な人や物事と出会いながら多くの体験**をしていきます。子どもの興味を尊重しつつ、子どもの遊びを一緒に楽しんでみてはどうでしょうか。(文責：浪本正晴)



図1 水遊び



図2 歌とおどり



図3 絵本

# 医療・介護お役立ち情報

このページでは理学療法士協会が主催して行なった研修会より、市民の皆様方に医療・介護で役立つ情報をお伝えします。

第4回目は「自立を促す介護のポイント：車いすへの移乗（乗り移り）編」をお送りします。

## 車いすへの移乗(乗り移り)の介助

今回はベッドなどから起き上がった後の、車いすへの移乗（乗り移り）の介助方法をお伝えします。移乗とは、**介護される方がベッドから車いす、車いすから椅子、椅子から床などへ乗り移る動作**を言います。起き上がりと同様に、ご本人の能力を活用して移動できる様に心がけます。

日常生活の中で確認し、練習を重ねることが、**廃用予防と介護負担軽減につながります。**

### ●移乗動作の種類について

移乗動作には、①いったん立ち上がったの移乗、②座った状態での移乗、③介護用リフトなどを使用するの移乗、など主に3種類あります。介護される方の能力に応じて①～③を使い分けます。

#### ①いったん立ち上がったの移乗

**介助すれば立った状態を保つことができる方は**、こちらを選択します。いったん立ち上がって移乗を行なう場合には、立ち上がり動作のポイントを十分理解しておくことや、立ち上がった後に腰掛ける車いすを適切な位置に着けることが重要になります。

介助する方が、介護される方の前に立ちただかると体を前に曲げることができず（写真1）、結果として十分に殿部（お尻）があがらないままに方向変換を行うこととなりますので危険です。またベッドと車いすのなす角度が大きすぎると、軸足を中心とした回転動作がより必要となるためベッドと車いすのフットレスト（足のせ）の隙間が少ない10～15度程度が良い位置と言われています（写真2）。



写真1



写真2

#### ②座った状態での移乗（写真3）

**座ることは出来るけれど、立った姿勢を保つことが出来ない方**の場合は座ったままの移乗をお勧めします。この方法には肘掛けを外すことが出来る車いすや、スライディングボードという福祉用具が必要となります。



写真3：スライディングボードの使用

### ●目的をはっきり伝える

①～③のいずれの方法をとるにしても、**今から何を行うのかを介護される方にはっきり伝えることはとても重要です。**例えば、立ち上がりの際には「お辞儀をしてください」「右膝を伸ばしてください」のように具体的に協力を求めることも重要です。また、声かけした後に力が入るまで時間がかかる方もいるので、動きができるまで少し待つ介護者側の心の余裕も必要です。患者さん持っている能力を引き出すことが、自立を促すことにつながります。

# 学術事業部文献紹介

## 「エビデンスに基づく整形外科徒手検査法」

著者：Joshua Cleland

監訳：柳澤 健、赤坂清和

出版社：エルゼビアジャパン

整形外科徒手検査法の信頼性や診断学的有用性が書かれてあります。

数値の解釈は自分でする必要があるので、第一章のや感度・特異度・尤度比などなどを理解していないと各々の徒手検査のページだけを読んで理解できません。

例えば「SLR テストによる椎間板ヘルニアの鑑別」の感度はどのくらいなのか？

これに関しては 15 編の研究結果+15 編の研究をまとめた推定値が記されています。

あるいは、ゴニオメーターによる ROM テストの検者間・検者内信頼性なども上記同様に記載されています。

この本で面白いのはマニュアルセラピーで用いる脊柱の分節テストなども記されている点です。

例えば、「マッケンジー法を習得していない複数のセラピストと学生が、1 検者により行われた検査のビデオを見て、ビデオを見たセラピストと学生の全ては、患者の動きから症状の変化を予想するように指示された。その際の検者間信頼性は……」などです。マニュアルセラピーに興味のある方は是非読んでみて下さい。

例えば、正常な分節の動きがある程度分かっているなければ、「A より B の分節の動きが少ない」という情報が得られても、これが「B が過少運動性なのか」

「A が不安定性なのか」が分かりません。問診・視診・自動運動テストなどを総合しながら、更に触診技術をしっかり磨いていかなければ手技は使えないということになります。その分習得し甲斐がある奥深いものだと思います。そして、触診は練習や経験を積み積むほど分かってきますし、評価が出来るようになればなるほど、それは即ち治療効果に反映されると思います。この情報だけに頼るだけでなく更にこれ以外の情報も複合してクリニカルリーディングをしていかなければ、マニュアルセラピーの結果は出ないということだと思います。

(文責：上村恭生)

## 「理学療法のクリティカルパス 症例から学ぶグローバルスタンダード」 上巻(上肢・脊椎)、下巻(下肢)【全2巻】

著：David C.Saidoff、Andrew L.McDonough

監訳：赤坂清和、藤縄 理

出版社：エルゼビアジャパン

本書は熟練したセラピストの医学的知識と臨床的思考方法を、症例を通して疾患の症候学的特徴、評価方法、解剖学および病理学的背景、実際の治療方法および機能的帰結について、具体的に説明を加えながら、考えることができるように編集されていることが特徴です。

上巻は手と手関節・肘と前腕・肩・腕神経叢・胸郭出口・肩甲帯・神経と筋の損傷・骨盤・脊椎の全 35 症例分類の紹介から始まり、下巻は足部・足関節・踵・膝関節と脛骨・股関節・大腿・膝関節の全 28 症例分類の紹介から始まります。

視診・触診・ROM・筋力・感覚などの理学的所見の情報を加えて、各症例の Questions を 1 つずつ検討・解説してあり、少ないもので 7 つの解説、多いものでは 53 の解説を丁寧に行っております。

本書でとりあげてある範囲は、保存的治療が有効な病態に限られており、加えてより一般的な神経筋骨格系疾患の範囲に限定してあります。

現在の理学療法実践で特に必要とされている結果に対する評価・患者の満足度という問題を強調していることも本書の特徴であると思います。

本書は臨床実習前の学生、卒後教育のなかでしっかりと評価・治療方法を身につけようとする若手のセラピスト、講習会の参加が難しいセラピストにとって、貴重な文献であると思います。

是非ご一読を。

(文責：木口和明)



# 事業予定表

12月		1月		2月	
日曜	予定	日曜	予定	日曜	予定
1 日	第46回市民公開講座	1 水		1 土	
2 月		2 木		2 日	第4回糖尿病小委員会研修会
3 火		3 金		3 月	
4 水	第3回部長会議	4 土		4 火	
5 木	連携学会企画委員会	5 日		5 水	第12回理事会
6 金		6 月		6 木	熊本市ブロック中央地区会議
7 土		7 火		7 金	
8 日		8 水	第3回拡大理事会、第11回理事会	8 土	
9 月		9 木		9 日	第14回テーピング講習会 (足関節編)
10 火		10 金		10 月	
11 水	第10回理事会	11 土		11 火	
12 木	法人事業審議委員会	12 日		12 水	
13 金		13 月		13 木	
14 土		14 火		14 金	第6回天草ブロック勉強会
15 日	日本理学療法士協会組織運営協議会	15 水		15 土	
16 月		16 木		16 日	第3回熊本城マラソン
17 火		17 金	教育部管理・運営教育班会議	17 月	
18 水		18 土		18 火	
19 木	管理者教育カリキュラム 第1ステージ(第4クール) (~12/20) ※	19 日		19 水	
20 金		20 月		20 木	熊本市ブロック東地区会議
21 土		21 火		21 金	
22 日		22 水	熊本シティエフエム放送出演	22 土	
23 月		23 木		23 日	
24 火		24 金	教育部臨床実習教育班会議	24 月	
25 水		25 土	「熊日・スミセイさわやか介護 セミナー」	25 火	
26 木		26 日		26 水	
27 金		27 月		27 木	
28 土		28 火		28 金	
29 日		29 水			
30 月		30 木			
31 火		31 金			

※熊本市補装具適正交付連絡協議会：  
北里会長（12/19）

- 熊本市ブロック会議
- 天草ブロック会議
- 天草ブロック忘年会

- 天草ブロック新年会（天草リハ研合同）
- 第4回県南ブロック勉強会

- 介護保険領域における研修会
- 熊本市ブロック菊阿地区会議
- 八代ブロック会議
- 八代ブロック勉強会
- 天草ブロック会議
- 第5回県南ブロック勉強会
- 教育部会議

異動・休会・復会・退会等の手続きについて

※平成 26 年 1 月より異動等手続きシステムが大幅に変更になります。



**会員異動等各種手続きが WEB のみになります。**

(県外異動、入会、休会、復会、退会の場合、熊本県理学療法士協会専用の別途手続きが必要です)

**【紙申請廃止への経緯】**

協会システムの整備によって、各種申請が WEB から実施できるようになり、業務の軽減・迅速化、経費の削減のため等、紙申請を廃止することになりました。

**【廃止される紙申請の内訳】**

入会申請、異動申請、休会申請、復会申請、退会申請

**【紙申請の廃止日】**

平成 25 年 12 月末日

**【廃止日以降の対応について】**

廃止日（平成 25 年 12 月末日）以降、Web の環境がないなど、紙面申請しかできない会員の対応については、日本理学療法士協会事務局へご連絡ください。協会から用紙を個別にお送りします。

## 《日本理学療法士協会 異動申請システム》

異動等会員データに変更がありましたときは Web 申請にて手続きをお願いいたします。

日本理学療法士協会ホームページ内の【マイページ】よりログインしお手続きください。

**■異動**

1. 勤務先異動・改姓・自宅住所変更等により会員登録に変更が生じた場合、Web 申請にてお手続きください。

**■休会**

1. 休会を希望する場合は、Web 申請にて手続きください。
2. 休会期間は 1 年単位となります。  
休会期間は 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までとなり、年度途中の休会も終期は 3 月 31 日となります。

3. 休会期間満了時（3月31日）までに復会・休会継続・退会いずれかの手続きが必要となります。

＊ なお、「休会継続」の手続き受付期間は【1月1日～3月31日】までとなります。

期間外は受付出来かねますので、ご了承ください。

満了時までには手続きがない場合、規定により**退会**となります。

再度、入会を希望する場合は、入会金・入会手続きが必要となり、新人教育プログラム・生涯学習基礎プログラムが再履修となります。

4. 休会中に改姓・連絡先の自宅住所が変更になった場合は、Web申請にてお手続きください。

5. 休会中の研修会等への参加資格はなくなります。

#### ■復会

1. 休会中の会員が復会を希望する場合、Web申請にてお手続きください。

#### ■退会

1. 日本理学療法士協会及び都道府県士会を退会する場合は、Web申請にてお手続きください。

2. 会員証カードは速やかに日本理学療法士協会へ返送いただきますようお願いいたします。

【会員証カード返送先】 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 3-8-5

日本理学療法士協会事務局 会員管理部 宛

【注意事項】 ・年度途中の入会・復会・休会・退会の場合は当年度会費全額の納入が必要となります。  
・当年度分までの会費の納入が確認できない場合は、申請は受理出来ません。  
・当年度とは、4月1日から翌年3月31日までを示します。

※Web申請に関してご不明な点がございましたら、日本理学療法士協会へお尋ねください。

## 《熊本県理学療法士協会 異動申請システム》

熊本県理学療法士協会では、県外異動、入会、休会、復会、退会の場合、従来通り専用の手続きが必要です。手続き方法はWeb申請後、後日改めてご案内致します。

#### <手続き終了連絡について>

- ・異動に伴いブロックが変更になった場合のみ、新しい所属ブロックについてご連絡致します。
- ・休会者には休会期間についてご連絡致します。
- ・その他は郵送物等の宛先で内容の確認をお願い致します。
- ・提出から1ヶ月以上経過しても前登録内容で郵便物が届く場合は、お手数ですが県協会事務局までご連絡下さい。内容に誤りがある場合も申し訳ありませんがご連絡頂きたくお願い致します。

※ ご不明な点がございましたら、県協会事務局までお尋ね下さい。(TEL 096-389-6463)

# 学会・研修会のお知らせ

## 福祉研修会

### 命の授業

#### ～夢を支えるセラピストへの提言～

平成 25 年度「福祉研修会」を、「命の授業 ～夢を支えるセラピストへの提言～」と題して、神奈川県より「腰塚勇人先生」を講師にお招きして、研修会を企画しました。

元教師であられる腰塚勇人先生は、不慮の事故により深刻な障害を受けられ、懸命のリハビリテーションによって奇跡的な回復をされ、念願の社会復帰（教職への復帰）をされたご経験を通じて、人生も人生観も大きく変化されました。

そのご経験から、全国の子供たちや大人に、「命の大切さ、生きていることの素晴らしさ、両親・家族・仲間の大切さなど、普段の生活の中で当たり前と感じ、忘れかけている大切な幸せについて、また、一人一人が誰かを照らす存在であること」を、講演を通じてメッセージを伝えられています。

You Tube の「命の授業」動画は、30 万人以上の方が感動され、社会的に大きな反響となっています。

今回、腰塚先生の夢を支えたセラピスト達や関係者、ご家族の関わりを通じて、患者の視点からみた私達への提言をいただき、日頃の業務の中で薄れがちな大切なことやリハビリテーションについて、たくさんの気づきを皆様と分かち合いたいと思います。

ぜひ、皆様方のご参加をお待ちしておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

### 記

日 時：平成 25 年 11 月 29 日（金）  
19:00～21:00

場 所：九州中央リハビリテーション学院 講堂

講 師：腰塚 勇人(こしづかはやと)先生（講演家、元体育教師・養護教員）

演 題：「命の授業 ～夢を支えるセラピストへの提言～」

参加費：会員 1000 円 会員外 2000 円

対 象：理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、医療保健福祉関係者、一般の方、等

#### 申込み方法：

①・名②所属先③職種④協会会員番号（理学療法士のみ）⑤連絡先、をご記入の上、メールアドレス「reha@yamaga-reha.jp」、又は FAX「0968-43-4153」に、宛先を「山鹿温泉リハビリ病院 一安様 福祉研修会申し込み」と記載し、お申し込み下さい。

申込み締切日：当日参加も可能です。

問い合わせ先：

山鹿温泉リハビリ病院 西・一安

TEL 0968-43-4151

## 編集後記

今年も早いもので、もう残り 1 ヶ月となりました。今年は「2020 年東京オリンピック・パラリンピック開催決定」「富士山の世界遺産登録」「公益社団法人 熊本県理学療法士協会の設立」などなど…振り返ってみるといろいろなことがありましたね。皆さんにとって今年はどうな 1 年でしたか？

今年ももう残りわずか！皆さんも今年一年を振り返ってみてはいかがでしょう？何か“やり残したこと”、“今年のうちに始めておきたいこと”が見つかるかも…。ちなみに、私は来年 2 月の熊本城マラソンに向けて少しずつランニングを始めているところです。目指せ完走!! (M. A)



公益社団法人熊本県理学療法士協会 広報誌「かくどけい」

号 数

第 112 号 通算 149 号

発 行 日

平成 25 年 11 月 25 日

発 行 人

公益社団法人熊本県理学療法士協会  
〒861-8045 熊本市東区小山 2 丁目 25-35

TEL/FAX 096-389-6463

S T A F F

坂田 大介

岩村 泰年

江口 宏

中野 真実

緒方 美湖

紫垣 華苗

奥 蘭 彩

富 永 誠

野田 智愛

渡邊 知子

松本 美香

有馬 正英

古川 晃次

中 熊 麗

渡邊 大輔

南 留美子

福田 圭祐

岩見 幸省

野尻 晋一（表紙）

